

景況調査（第 109 回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2024 年度上期実績見込み・2024 年度下期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016 年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

[目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期、水準）について	24
②価格転嫁の状況について	25
③国内主要自動車メーカーの生産・出荷停止等の影響について	26
④雇用人員の募集方法・経路について	28
IV. 生の声	29

[調査の概要]

1. 調査対象： ①三重県内の事業所 1,043 先 (回答 453 先／回答率 43.4%)
 ②愛知県内の事業所 317 先 (回答 96 先／回答率 30.3%)
 (合計調査対象数 1,360 先 (回答 549 先／回答率 40.3%))
2. 調査時期： 2024 年 7 月上旬～7 月下旬
3. 調査対象期間： 2024 年度上期 (24 年 4 月～9 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
 2024 年度下期 (24 年 10 月～25 年 3 月) 見通し (文中表記「来期」)
4. 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
5. 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		453	100.0%	96	100.0%	549	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	55	12.1%	12	12.5%	67	12.2%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	398	87.9%	84	87.5%	482	87.8%
業種別	製造業	176	38.9%	36	37.5%	212	38.6%
	食料品(飲料含む)	22	4.9%	5	5.2%	27	4.9%
	繊維	5	1.1%	0	0.0%	5	0.9%
	印刷	6	1.3%	3	3.1%	9	1.6%
	石油・化学	16	3.5%	1	1.0%	17	3.1%
	窯業・土石	16	3.5%	1	1.0%	17	3.1%
	一般機器	29	6.4%	3	3.1%	32	5.8%
	電気機器	21	4.6%	3	3.1%	24	4.4%
	輸送用機器	32	7.1%	11	11.5%	43	7.8%
	その他製造	29	6.4%	9	9.4%	38	6.9%
	非製造業	255	56.3%	60	62.5%	315	57.4%
	建設	63	13.9%	17	17.7%	80	14.6%
	不動産	10	2.2%	8	8.3%	18	3.3%
	卸売	36	7.9%	14	14.6%	50	9.1%
	小売	42	9.3%	4	4.2%	46	8.4%
	運輸・倉庫	30	6.6%	7	7.3%	37	6.7%
	観光・宿泊	21	4.6%	1	1.0%	22	4.0%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	53	11.7%	9	9.4%	62	11.3%
	地場産業	22	4.9%	—	—	22	4.0%
	製材	9	2.0%	—	—	9	1.6%
	真珠養殖	0	0.0%	—	—	0	0.0%
	真珠加工販売	3	0.7%	—	—	3	0.5%
	鋳鉄・鋳物製造	3	0.7%	—	—	3	0.5%
	萬古焼製造	1	0.2%	—	—	1	0.2%
	萬古焼卸売	6	1.3%	—	—	6	1.1%
地域別	北勢	200	44.2%	—	—	200	36.4%
	中勢	128	28.3%	—	—	128	23.3%
	南勢	60	13.2%	—	—	60	10.9%
	伊賀	42	9.3%	—	—	42	7.7%
	東紀州	23	5.1%	—	—	23	4.2%
	愛知県	—	—	96	100.0%	96	17.5%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況判断BSIは今期2期ぶりのマイナス。来期はやや上向く見通し。

【概況】 三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比、自社の属する業種の景気）は、2024 年度上期は△4.6 と、23 年度下期（+6.6）及び今期見通し（+0.7）を下回り、2 期ぶりのマイナスに転じた。24 年度下期は△2.4 となり、マイナス幅はやや縮小する見通し。

業種別にみると、今期、製造業は△13.6 と 2 期ぶりのマイナスに転じ、非製造業は+3.9 とプラス幅縮小も 5 期連続のプラスとなった。

今期、前期から最も低下したのは輸送用機器（+26.7→△15.6）である。半導体不足等が解消し挽回生産で好調だった前期から一転、国内の一部自動車メーカーによる「型式指定」の認証不正等に伴う生産・出荷の停止が影響した。この問題は小売、運輸・倉庫、電気機器、サービスなど幅広い業種に影響し「自社に影響が出ている」企業は全体の 8.4%となった。今期、特にマイナス幅が大きかったのは電気機器（△38.1）である。自動車や住宅向けで不調のほか、中国経済減速等の影響を挙げる企業がみられた。自動車の問題の影響は一時的で、生産再開に伴い来期は持ち直しを見込む企業が多い。来期は、製造業全体で△2.8 に改善する見通しとなった。非製造業では、不動産、運輸・倉庫、観光・宿泊などで需要回復が続く今期・来期ともプラスとなった。非製造業全体では、来期は+1.6 とプラス幅は縮小するものの好調を維持する見通しである。

なお、自社の収益を中心とした業況判断 DI（水準、「良い・悪い」）は、7・9 月が+19.1 で来期（10・12 月、1・3 月）もほぼ横ばいの 2 桁プラスとなり、水準としては良い。

今年度に入り物価が再び上昇傾向となる中、「経営上の問題」では「原材料高」の割合が 49.0%と前期の 43.7%から再び上昇し、5 期連続の 1 位となった。人員の過不足感は+48.6 とやや低下したものの不足感は依然高水準であり、採用活動している企業のうち「採用は困難」は 77.2%に上った。物価高や人手不足を背景に賃上げは進展し、賃上げした企業の割合は 82.1%と前年（75.5%）を上回り、賃上げ率は 3.46%（前年 3.30%）と 2 年連続で 3%を超えた。

設備投資を実施する企業割合（投資額 500 万円以上）は今期 46.8%となり、前期比では低下したもののコロナ禍前を上回る高水準で、来期は 50%を超える見通し。

BSI		2023 年度 下期 (前期)	2024 年度 上期 (今期)	2024 年度 下期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期 2 期ぶりマイナス、来期はマイナス幅縮小	6.6	△4.6	△2.4
大・中堅企業	今期 2 期連続大幅プラス、来期も 2 桁プラス	24.5	30.9	12.7
中小企業	今期 2 期ぶりマイナス、来期はマイナス幅縮小	4.3	△9.5	△4.5
売上高 BSI	今期 5 期連続のプラス、来期はほぼ横ばい	9.3	4.4	3.8
販売数量 BSI	今期 2 期ぶりマイナス、来期はマイナス幅縮小	0.0	△8.0	△2.9
在庫量 BSI	今期ほぼ横ばい、来期は 0.0	2.0	2.6	0.0
販売価格 BSI	今期プラス幅縮小、来期はほぼ横ばい	43.6	37.8	37.1
仕入価格 BSI	今期、来期ともほぼ横ばい	69.1	70.8	68.5
採算 BSI	今期 2 期ぶりマイナス、来期はほぼ横ばい	3.1	△8.9	△7.8
資金繰り BSI	今期 2 期ぶりマイナス、来期はほぼ横ばい	0.7	△2.0	△2.7
設備投資実施割合	5 期連続でコロナ禍前を上回る高水準	48.1%	46.8%	52.7%
雇用過不足感	不足感は依然高水準	51.7	48.6	—
※業況判断(水準)	24 年 4-6 月 (20.2) →7-9 月 (19.1) →10-12 月 (20.5) →25 年 1-3 月 (19.0)			

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは、今期2期ぶりのマイナスに。来期はマイナス幅やや縮小の見通し。

◆全企業

業況判断BSI（前年同期比、変化方向）は、2024年度上期（以下、今期）は $\Delta 4.6$ と、23年度下期（以下、前期）（ $+6.6$ ）及び今期見通し（ $+0.7$ ）を下回り、2期ぶりのマイナスに転じた。24年度下期（以下、来期）は $\Delta 2.4$ となり、マイナス幅はやや縮小の見通し。

◆業種別 …今期、製造業は2期ぶりのマイナスに転じる、非製造業はプラス幅縮小。

来期、製造業はマイナス幅縮小し改善、非製造業はプラス幅やや縮小。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

◇製造業 …今期（ $\Delta 13.6$ ）は2桁マイナスに転じる。来期（ $\Delta 2.8$ ）はマイナス幅縮小。

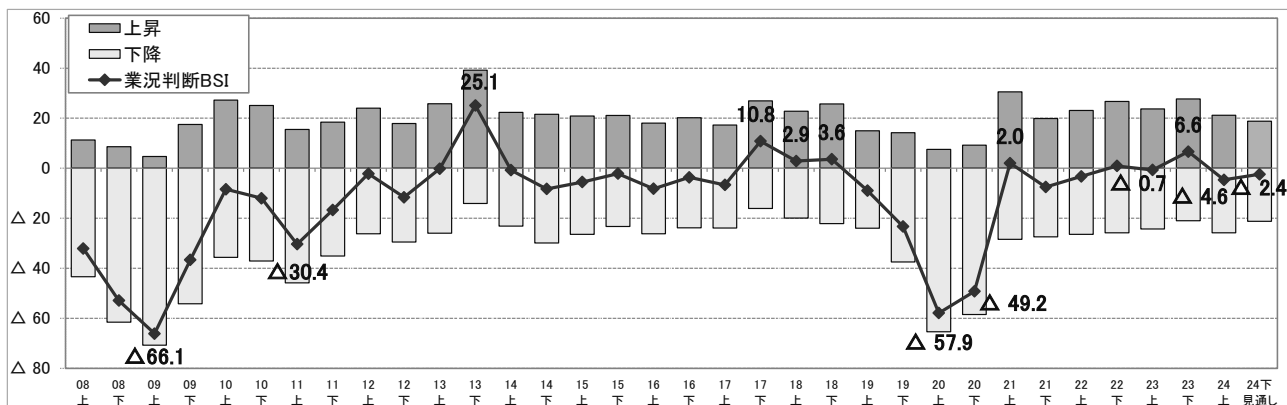
【石油・化学】	今期7期連続プラス、来期もプラス。販売数量が今期・来期とも2桁プラス。半導体、医薬品周辺材料、業務用化粧品など需要回復・堅調。
【一般機器】	今期6期ぶりプラス、来期はプラス幅拡大。販売数量は来期2桁プラス。自動車、工作機械、OA機器向け、金型、軸受けなど設備投資増で好調。
【食料品】	今期4期連続のプラス、来期は0.0。販売数量は今期・来期とも2桁プラス。外食、輸出、インバウンド需要で好調。原材料高が重石。
【輸送用機器】	前期の2桁プラスから今期2桁マイナスに。来期はマイナス幅縮小し改善。一部自動車メーカーによる「型式指定」の認証不正問題の影響。
【印刷】	今期3期ぶりマイナス、来期もマイナス。
【窯業・土石】	今期3期ぶりマイナス、来期はプラス。価格転嫁で、採算はプラスで推移。
【その他製造】	今期5期連続マイナスでマイナス幅拡大、来期も2桁マイナス。
【電気機器】	今期3期連続マイナスでマイナス幅拡大、来期は0.0に改善。価格転嫁がやや困難で、今期採算悪化。自動車向け、住宅向け、中国向けなど不調。
【繊維】	今期6期連続マイナスで、来期はマイナス幅縮小。

◇非製造業 …今期（ $+3.9$ ）は5期連続プラスもプラス幅縮小、来期（ $+1.6$ ）もやや縮小。

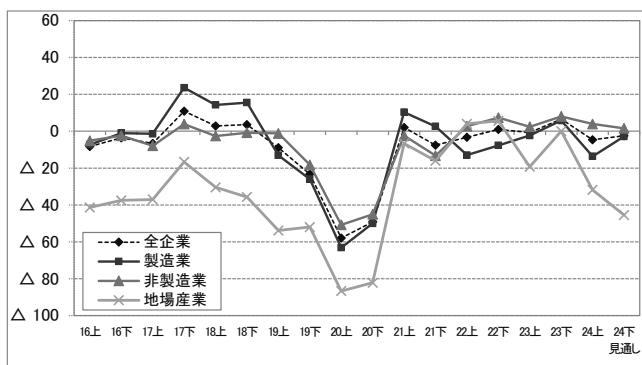
【不動産】	今期12期ぶりのプラス、来期もプラスで横ばい。
【運輸・倉庫】	今期2期連続の2桁プラス、来期プラス幅拡大。販売数量が今期・来期ともプラス。値上げの進展、輸送量の回復等で、増収増益傾向。
【観光・宿泊】	今期5期連続の2桁プラス、来期はプラス幅縮小。販売数量・採算も今期・来期とも2桁プラス。客足増加、インバウンド需要、価格転嫁進展、設備投資効果で好調維持。増収増益傾向が続く。
【建設】	今期2期連続のプラスも、来期はマイナス。今期、販売数量がプラス。受注拡大、受注残、大型工事。人材不足で受注量調整も。
【サービス】	今期・来期とも0.0。飲食店、人材派遣など好調。コロナ後の需要一巡も。
【卸売】	今期2期ぶりマイナス、来期もマイナス。
【小売】	今期4期ぶりマイナス、来期はマイナス縮小。価格転嫁進展も販売数量減。自動車は出荷停止の影響。スーパーやドラッグストアは競争激化。

◇地場産業 …今期（ $\Delta 31.8$ ）マイナスに、来期（ $\Delta 45.5$ ）はマイナス。

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上 (見通し)	24上	24下 (見通し)
全企業		△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	0.7	△ 4.6	△ 2.4
規模別	大・中堅企業	△ 66.7	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	△ 3.8	△ 3.6	24.5	14.3	30.9	12.7
	中小企業	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	1.6	△ 0.3	4.3	△ 1.1	△ 9.5	△ 4.5
業種別	製造業	△ 63.2	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 7.7	△ 2.3	5.8	1.7	△ 13.6	△ 2.8
	食料品	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	3.8	19.0	20.0	16.0	4.5	0.0
	繊維	△ 87.5	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 66.7	△ 40.0	△ 20.0
	印刷	△ 62.5	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 50.0	0.0	16.7	0.0	△ 16.7	△ 50.0
	石油・化学	△ 64.7	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	20.0	23.1	8.3	41.7	12.5	6.3
	窯業・土石	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 18.2	12.5	6.7	6.7	△ 25.0	12.5
	一般機器	△ 64.0	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	△ 6.1	0.0	3.6	6.9	10.3
	電気機器	△ 85.7	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	0.0	△ 26.1	△ 5.0	△ 5.0	△ 38.1	0.0
	輸送用機器	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 4.0	26.7	6.9	△ 15.6	△ 3.1
	その他製造	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 10.3	△ 11.8	△ 20.6	△ 31.0	△ 20.7
	大・中堅企業	△ 74.2	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 3.8	8.3	15.4	19.2	32.0	20.0
	中小企業	△ 61.0	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 8.3	△ 4.0	4.1	△ 1.4	△ 21.2	△ 6.6
	非製造業	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	7.4	2.4	8.0	1.3	3.9	1.6
	建設	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.4	8.0	△ 10.0	9.5	△ 3.2
	不動産	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	卸売	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	7.1	△ 6.9	7.4	14.8	△ 5.6	△ 8.3
	小売	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	32.5	0.0	△ 2.5	△ 9.5	△ 4.8
	運輸・倉庫	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 15.6	25.9	18.5	16.7	26.7
	観光・宿泊	△ 100.0	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	88.2	50.0	23.5	0.0	14.3	4.8
	サービス	△ 40.7	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	8.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	大・中堅企業	△ 59.4	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	△ 3.8	△ 12.9	34.8	8.7	30.0	6.7
	中小企業	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	8.8	4.6	5.0	0.5	0.4	0.9
地場産業		△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 16.0	4.0	5.6	△ 19.2	0.0	△ 11.5	△ 31.8	△ 45.5
	製材	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 42.9	△ 28.6	△ 44.4	△ 44.4
	真珠養殖	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—	—
	真珠加工販売	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	25.0	20.0	0.0	△ 33.3	△ 33.3
	鉄鉄鋳物	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	△ 50.0	50.0	0.0	△ 66.7	△ 66.7
	萬古焼製造	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	△ 66.7	0.0	0.0	△ 100.0
	萬古焼卸売	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	25.0	11.1	25.0	△ 25.0	0.0	△ 33.3

※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

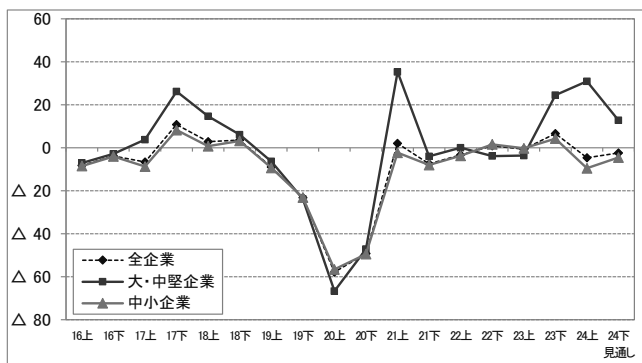
◆企業規模別 …大・中堅企業は今期２期連続の大幅プラス、来期はプラス幅縮小も２桁プラス。
中小企業は今期２期ぶりのマイナス、来期はマイナス幅縮小。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、大・中堅企業は、今期は２期連続の大幅なプラスとなり、来期はプラス幅縮小も２桁プラスが続く見通し。中小企業は、今期２期ぶりのマイナスに転じ、来期はマイナス幅縮小の見通し。

製造業では、大・中堅企業は今期・来期とも２桁プラス。中小企業は今期２期ぶりのマイナスで２桁のマイナス、来期はマイナス幅縮小の見通し。

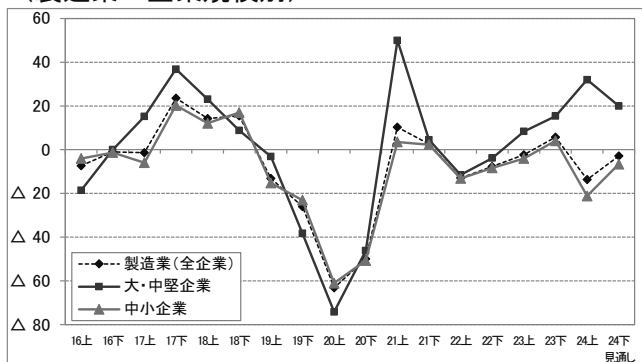
非製造業では、大・中堅企業は今期２期連続の２桁プラス、来期はプラス幅縮小。中小企業は今期、来期ともわずかながらプラス。

■業況判断BSI（企業規模別）

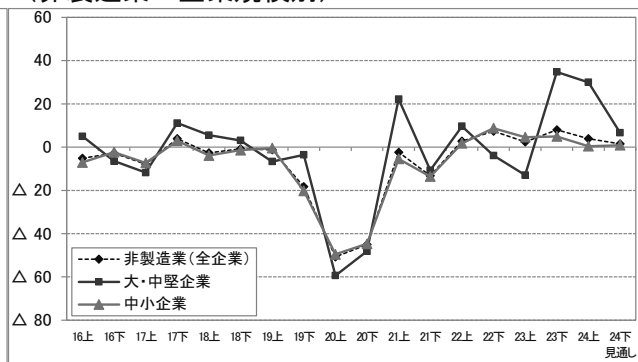


※左図のデータには、地場産業を含む

（製造業・企業規模別）



（非製造業・企業規模別）



◆地域別 …今期、中勢地域はわずかなプラス、伊賀地域と東紀州地域は２桁マイナス。

業況判断 BSI を地域別にみると、中勢地域が２期連続のプラスとなったもののわずかなプラス幅にとどまり、来期はマイナスに転じる見通し。北勢地域は今期４期ぶりのマイナスも、来期はプラスの見通し。南勢地域は今期５期ぶりのマイナスで、来期 0.0 に改善の見通し。伊賀地域と東紀州地域は、今期２桁マイナスでマイナス幅は拡大、来期は改善もマイナスの見通し。

■業況判断BSI（地域別）の推移

	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上 (見通し)	24下 (見通し)
全地域	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	0.7	△ 4.6
北勢地域	△ 63.6	△ 55.8	4.7	△ 5.7	△ 0.5	2.3	5.1	6.7	3.9	△ 0.5
中勢地域	△ 61.4	△ 42.0	15.5	△ 6.1	△ 7.0	△ 1.6	△ 3.9	11.1	2.4	△ 5.5
南勢地域	△ 66.2	△ 62.7	△ 16.7	△ 13.1	16.2	23.4	6.3	12.9	8.1	△ 1.7
伊賀地域	△ 40.4	△ 41.7	△ 5.0	0.0	△ 28.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 8.6	△ 17.1	△ 23.8
東紀州地域	△ 17.6	△ 19.4	△ 11.1	△ 18.8	△ 20.0	△ 34.5	△ 38.1	△ 15.0	△ 30.0	△ 43.5